

## 平成21年度事務事業評価シート (20年度実施事業分)

事業番号		09 06 10	中期総合計画主要施策番号		1-08	担当課	部・課	農政部農村振興課	
事業名		遊休農地活用総合対策事業					内線	3116	
							E-mail	noson@pref.nagano.jp	
事業の概要等	事業の目的	・多様な主体が遊休農地を活用して、農業生産活動等を行う場合に、地域の合意形成や遊休農地の復旧・条件整備に必要な支援を行う。							
	事業の必要性	【現状(事業の目的との間にどのようなギャップがあるか)】 ・2005年農林業センサスでは、耕作放棄地が17,094ha存在している。 ・農地利用の低下と農村景観の悪化等多面的機能の低下を招いている。 【原因分析(ギャップが発生している原因は何か)】 ・農業従事者の高齢化等により地域の農業者が減少し土地利用が低下している。 【課題の特定(事業の実施により解決しようとする課題は何か)】 ・遊休農地の整備・復旧し農業生産の維持拡大を進める必要がある。 ・遊休農地を活用し、多様な担い手による農地の継続的な利用を確保する。							
		事業内容 ・遊休農地の実態把握、活用に向けた推進活動への補助 ・遊休農地の整備・復旧に対する補助(補助率:【国】1/2、【市町村等】1/2)							
		実施期間	H18 ~	根拠法令等	農山漁村の活性化のための定住等及び地域間交流の促進に関する法律に基づく活性化計画、農山漁村活性化プロジェクト支援交付金実施要綱、遊休農地解消計画、食と農業農村振興計画				
	成果と達成状況	事業の目指す成果		達成度(期待どおり)の判定基準(H20)			達成状況		評価
事業実施市町村が策定する活性化計画に基づき遊休農地の整備・復旧を図る。 (実施期間の整備面積:3地区 20.4ha)		平成20年度計画を次のとおりとする。 遊休農地の整備計画:3地区、5.5ha			平成20年度実績は次のとおりであった。 遊休農地の整備実績:3地区、5.5ha		a.期待以上 b.期待どおり c.やや下回る d.期待以下		
事業コスト	区 分		単位	19年度	20年度	21年度(当初)	20年度の概要		
	最終予算額 (A)		千円	12,809	9,544	29,765	国庫・県単	国庫・県単	
	決 算 額 (B)		千円	12,809	9,506		実施方法	補助、直接	
	B(H21はA)のうち一般財源		千円	160	269	433	歳出節別内訳等	・旅費:106 ・需用費:238 ・役務費:10 ・使用料及び賃借料:94 ・補助金:9,058	
	概 算 人件費	従事する職員数	人	2.70	2.70	2.70	(単位:千円)		
	概算人件費 (C)		千円	19,278	19,302	19,302			
概算事業費 (B(H21はA) + C)		千円	32,087	28,808	49,067				
事業実績	内 容		単位	19年度	20年度	21年度(予定)	左記以外の20年度の実績		
	遊休農地の整備・復旧		ha	6.5	5.5	5.5	遊休農地の実態把握(4市町)		
事業の課題	区 分		判 定 ・ 説 明						
	事業のニーズの変化		増加	横ばい	減少	判定の説明	市町村が策定した解消計画に基づき、再生整備等の取組は増加傾向にある。		
	県の関与を見直す余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	有効性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
	効率性を高める余地		余地なし	当面余地なし	余地あり				
課題の総括		・地域の合意形成活動や遊休農地の復旧・条件整備をし、多様な手法による遊休農地の活用等により遊休農地の再生活用や発生防止活動を引き続き支援する必要がある。 ・市町村の遊休農地の解消計画の実践に向けた多様な活動を支援していくことが必要である。							